

ダリアNAMAHAAGEシリーズの品種適応性

ダリア「N.オーブ」、「N.パール」は本県の冬春出荷作型に適する

背景・目的

- 宮崎県では、秋田県と連携し、秋田県育成のダリアNAMAHAAGEシリーズ（以下、「N. シリーズ」）のリレー出荷に取り組んでいます。秋田県で新たに育成されたシリーズ新品种については、本県での適性は不明です。
- 本試験では、リレー出荷体制の安定に繋がる「N. シリーズ」の栽培品種拡大のため、本県での栽培に適する品種選定を行いました。

成果の内容

- 2018年度に検定した「N. シリーズ」8品種のうち、「N. オーブ」、「N. パール」は本県の冬春出荷作型に適することが分かりました（表1、2、写真1、2）。
- 「N.オーブ」は、切り花長は1番花のすべての切り花で80cm以上を満たし、2番花および3番花で80cm以下がそれぞれ25%、29%発生しますが、最低出荷規格の50cmは満たしました(表1)。
- 「N.パール」の切り花長は1番花すべてで、2番花、3番花は97%が80cm以上を満たしました(表1)。



写真1 「N.. オーブ」



写真2 「N.. パール」

表1 各品種の平均開花日、切り花形質、切り花規格発生率および露心花率

品種名	採花	平均開花日 ^z	切り花長 (cm)	茎径 ^y (mm)	切り花規格発生率(%)			切り花 本数 (本)	露心花率 (%)
					50cm未満	50cm以上 80cm未満	80cm以上		
N.オーブ	1番花	11月3日	117.2 ± 9.9	11.0 ± 1.0	0	0	100	4.0	0
	2番花	2月3日	85.1 ± 9.0	7.4 ± 1.2	0	25	75	5.8	9
	3番花	4月8日	85.7 ± 10.7	7.3 ± 0.9	0	29	71	5.1	4
N.パール	1番花	11月14日	125.2 ± 11.8	10.3 ± 0.7	0	0	100	4.0	0
	2番花	3月23日	130.5 ± 24.1	9.4 ± 1.4	0	3	97	5.5	0
	3番花	5月13日	107 ± 14.9	10.1 ± 2.0	0	3	97	2.5	3
かまくら	1番花	10月27日	114.4 ± 10.5 ^x	9.4 ± 1.0	0	0	100	4.0	19
	2番花	2月10日	83.7 ± 19.4	7.3 ± 1.3	2	47	52	5.2	3
	3番花	4月17日	84.7 ± 13.8	6.8 ± 1.3	0	38	62	5.0	5

^z 最外層の舌状花が水平に開花した日

^y 収穫した切り口部分の直径

^x 平均値±標準偏差

表2 各品種の特性

品種名	花色	品種特性
N.オーブ	玉響オレンジ	高温条件下で挿し芽の発根がやや悪化。花色は安定。花首がやや柔い。
N.パール	パールホワイト	高温条件下でも発根良好。上向き咲き。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- ダリアNAMAHAAGEシリーズの「N. オーブ」および「N. パール」は、本県における冬春作型において、切り花の規格や形質の点で十分な適応性を示し、リレー出荷を前提とした品種導入に適します。
- 年間を通して市場の需要に応えることができるリレー出荷品種が拡充されることにより、取引の更なる安定強化に繋がると共に、本県ダリア産地のブランド力向上が期待されます。
- 普及対象地域・面積 中部地域 141a

留意点

- ダリアは市場ニーズの変化が大きいので、導入に際して事前取引先や実需者等と協議を行うのが望ましいです。

関連研究成果カード：2020年度 後期 番号8

関連事業名：花き生産額100億円復活のための高収量・高品質化技術の開発事業(県単)

研究期間：2018～2020年度